



“リそにゃ”と

確定拠出年金・加入者の皆さまへのお役立ちニュースレター

まなぼ!

Study

2020
September
9月

<今月から> ニュースレターは名称を変更し、リニューアルしました。

これまで“リそにゃ”は、教えて!と言われると嬉しくて、自分が知っている範囲のことを毎月皆さまにお伝えしていましたが、分からないことも多かった様です。そこで“リそにゃ”は、初心に戻り、今後は皆さまと一緒にもっと学びたいと思いました。新しくなったニュースレターで“リそにゃ”と一緒にDCを学びましょう。

制度〈基本〉

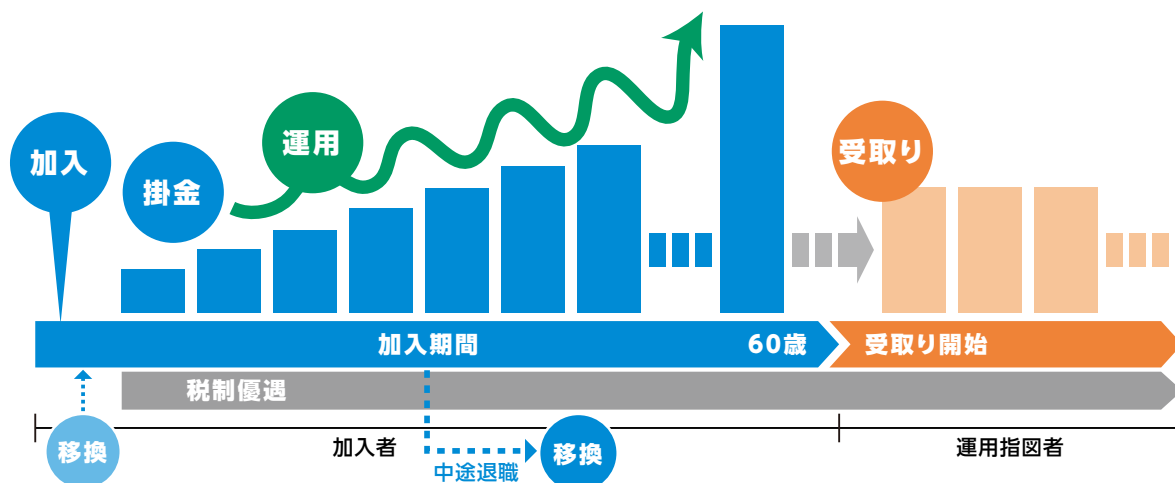
運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

確定拠出年金で使われている用語を知ろう

確定拠出年金は、「掛金」をご自身で「運用」しながら積立て、原則60歳以降に「受取り」仕組みの制度です。制度はシンプルですが、用語の中には聞き慣れないものもあるのでは?そこで今回は、制度の中でよく出てくる用語について、改めて解説します。



■ 加入者・運用指図者

掛金をかけて運用している人を「加入者」、掛金をかけずに資産の運用のみをしている人を「運用指図者」と呼びます。60歳以降受取りまでの間の方や、60歳未満でiDeCoで掛金をかけていない方などが運用指図者にあたります。

■ 事業主掛金・加入者掛金

会社が払込む掛金を「事業主掛金」、企業型のマッチング拠出で加入者が給与から上乗せする掛金や、iDeCoでご自身が払込む掛金を「加入者掛金」と言います。

■ 運用

制度に加入後、受取りまでの間がずっと運用期間です。

【スイッチング】

すでに保有している商品を売却して、別の商品に買い換えることを言います。売却数量の一部指定もできます。スイッチングしても、定例の掛金で購入する商品に変更されません。

【配分指定・配分変更】

掛金をどの商品で運用するか、商品の組合せと割合を指定することを「配分指定」と言います。掛金で購入したい商品を「%」で指定します。指定した配分は、いつでも変更することができ、その手続きを「商品別配分変更」と呼びます。

■ 移換

制度加入前に入っていた他の制度の資産を今のDC制度に持込むこと、または中途退職などにより今のDC制度を資格喪失した後、次の制度に資産を持運ぶことを「移換」と言います。

■ 給付

年金資産を受取ることを「給付」と言います。原則60歳以降に受取ることができる「老齢給付金」のほか、「障害給付金」「死亡一時金」の3種類の給付があります。

加入者サイトに入ってみよう!

リそな銀行確定拠出年金加入者サイトでは、皆さまの資産状況、運用商品状況のご確認、将来の受取金額シミュレーション、各種お手続きを行っていただけます。

<https://www.resona-tb.co.jp/401k/>



2020年9月発行

リそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

リそな銀行 確定拠出年金コールセンター
☎ 0120-401-987+「2#」

※海外からは国際フリーダイヤルをご利用ください。

本レターの無断引用・転載はお断りします。

